

新型コロナウイルスの感染者や、感染者が確認された学校などが不当な扱いを受けな
いよう、各教育委員会や学校
は啓発に力を入れている。

市立小でクラスターが発生
したことを受けて、北九州市
教委は今年2日、いじめ防止
を呼びかける30秒間の動画を
制作、投稿サイトで公開した。
「私たちが戦う相手は新型コ
ロナウイルス」とし、市立中

感染者差別対策 教委などが啓発

の生徒16人が「学校で偏見や
差別は許しません！」と訴え
る内容だ。

高知市では4月、感染者が
出た保育園に「がんばれ〇〇
(保育園名)ほいくえん」と
子供が記したとみられる旗が
飾られていた。市教委はこの
エピソードを紹介し、感染者
を差別しないよう呼びかける
紙芝居を作成。小学校の授業
での活用を呼びかけている。

市教委担当者は「子供たちが
傷つかない、傷つけない環境
を作りたい」とする。

大阪府大阪狭山市立第七小
学校は「コロナいじめぜった
いゼロ宣言」を打ち出し、医療
従事者や感染者に嫌がらせを
する人がいる問題を、各学級
で考えさせた。泉谷一校長は
「感染は足元まで迫っている。
正しい知識をつけ、正しく恐
れてほしい」と話している。